

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 さいたま新都心教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<ul style="list-style-type: none"> ・縦長の広いスペースで間隔をあけて活動出来ている。 ・法令を順守したスペースは勿論のこと、運動のできるスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に役割を決めることで少ない人数の時もスムーズに回せるようにしている。 ・児童発達管理責任者、児童指導員、保育士を配置。法律上の配置数は満たしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	利用者の方々の意見を聞いてもっと配慮できるようにしていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	毎日掃除を行っている。窓の換気も定期的に行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	毎日のミーティングで話しあい、記録もしている。毎日朝礼時、終礼時に指導員全員でミーティングをして情報共有、振り返りを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで改善出来るよう話し合いを行っている。 ・保護者からの要望などは忘れぬよう個人のバインダーにメモを貼り、職員間で共有している。 ・保護者向けアンケートを実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を図っていく。また、顧客満足度調査を実施し、業務改善に繋げていきたいと考えている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	当社のホームページに公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	定期的に外部研修、内部研修を行っている。各職員の知識・技能向上に努めている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。また、個別支援計画作成する際、話し合う時間を設けている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 さいたま新都心教室

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	フェイスシートを活用
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	子ども一人一人のサービス計画に沿って、基本活動（自立支援・日常生活の充実のための活動等）を複数合わせて行っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	計画を作成する際も、すべての職員が参加しており、その支援についても意思統一を図っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	支援前後の打ち合わせで意見を出し合っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	行事、イベント、学校体育集中クラスなど工夫している。また、担当する（リード）クラスが固定化しないようにしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や児童の要望に沿って目標を作成し、適宜、個別メニューや集団活動を取り入れている。 ・小集団クラスを設けており、個別活動、集団活動を行っている。契約時に適性を見極めクラス 設定を行っている。子どもの成長に応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を聞きながら行っている。 ・年度替わりのクラス編成時にも、クラスの見極めを行い、保護者への説明も行なっている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	ファシリテーター、リード、フィードバック担当などの確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1人ひとりの振り返りを行い、再度一貫性を持って関わられるよう共有しあい、次回につなげている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	利用児童全員の個別支援計画が入った職員個人ファイルを活用し、打ち合わせで話した内容を残し次の支援や支援計画の作成に活用している。
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	児童発達支援管理責任者が中心になり、児童指導員含めて意見を出し合い、保護者の方とのモニタリング会議や次の支援計画作成につなげている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 さいたま新都心教室

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	サービス担当者会議には参画していない。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	直接の連携は行っていないが、保護者からの要望に応じる形で、情報の共有など連携できる体制は整えている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	医療的ケアの必要なお子様を現在は預かっていないが、お預かりする場合は行っていきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	医療的ケアの必要なお子様を現在は預かっていないが、お預かりする場合は行っていきたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	今後必要に応じて検討していきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	相談支援センターを通して行うこともある。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	他事業所での様子など互いにヒアリングしている。研修は検討している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	ニーズがあれば検討したい。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	ニーズがあれば検討したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	主に毎時間ごとのフィードバック時に共有している。面談時に情報共有しているが少ないと感じる。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	関りなどの共有はしているが、家族支援プログラムをできているかと聞かれるとそうでない部分も多い。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に行っている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 さいたま新都心教室

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	定期的（6ヶ月ごと）に保護者の方と面談を行い、支援計画の説明に同意を頂いている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	面談時、フィードバック時に応じている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	ニーズがあれば検討したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	事業所内相談支援にて対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	インスタグラムの更新が止まってしまっている。動画をLINEで配信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	十分注意はしているが、ロビーでのフィードバックを気にされる方もいる。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	特性や能力に応じて絵カードやイラスト、写真を用いて対応している。口頭指示より視覚優位なお子さまに対しては動作化を行い、目で見てわかるような伝え方をしている。今後も必要に応じ検討していく予定。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在は行っていない。今後必要に応じて検討していく予定。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	感染症対策委員会にて研修を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難訓練（火災・防災・不審者対応）を実施している。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 さいたま新都心教室

非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	体験会問い合わせ時、契約時にフェイスシートの内容を確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アレルギーについてフェイスシートに記入していただき児童名簿にまとめてある。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ささいなことでもヒヤリハットを作成し、共有している。終礼時のミーティングで話し合い、その都度記録している。毎日の振り返りで共有し、対策を打っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止委員会にて研修を実施している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。当事業所において拘束等は行われていない。

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI さいたま新都心教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	1	0	2	十分だと思う	今後とも十分に確保できるよう、精進してまいります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1	0	3	・配置数◎運動発達面の専門性◎障害特性に関する適切さ 不明 ・ハンドサインなど分かりやすく本人にとっても楽しいようです。	・研修等を通し、専門性をより高めて行きたいと思います。 ・今後とも楽しく行えるように精進してまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20	0	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	0	0	1	とても清潔に整えてあると感じています。	今後とも清潔に保てるよう、精進してまいります。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20	0	0	2	初回計画の為、次回以降により個々に応じた支援計画になると期待しています。	スタッフ間の会話の質を高めていきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19	0	0	3	できれば1人レッスンになることを避けていただき、なるようなら可能な範囲で知らせてほしい。なるべく多くのお友達と接しての支援を医師に勧められているので。	ご利用様のニーズをしっかりと汲み取れるように会話していきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	0	0	2		

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI さいたま新都心教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	0	0	2	・スタッフの工夫とアイデアにより豊富な種類の活動があります。 ・プログラムの全容は不明だが、色々な活動に取り組んでいただき有難い。	今後とも試行錯誤をしていながら精進してまいります。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	1	7	5	特になくて良いと思う。	今後ニーズがあれば行っていきます。
保護者への説	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	0	1	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	20	0	0	2		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	3	6	4	・活動の様子、反応を教えることで良い声掛けを意識できるようになったと思います。(親側から) ・家でこうした方がいいなど、試してみたいことを伝えてもらえたら嬉しい。	・今後も保護者様と一緒に支援を考えていきます。 ・TAKUMI以外でも行える支援をフィードバックの際にも伝えていきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができてきているか	19	3	0	0	・活動後報告を丁寧にさせていただきヒアリングもあり助かっています。 ・担当の先生がいるわけではないので、こちらの状況を伝えづらい。	・今後も丁寧にヒアリングしていただけるよう努めていきます。 ・LINEを活用して子どもの共有事項等があれば、気軽に相談してほしいというのを再度周知する。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1	2	2	3ヶ月に1回程度、面談や支援計画の見直しがあればよいと思った。	基本的にもモニタリングは半年に1回だが、要望があれば事業所内相談支援等を利用していただいて、随時面談する時間を設けます。

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI さいたま新都心教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	10	9	他の保護者と交流するときがないので、交流の場があると嬉しい。	交流がしたいという希望が複数あれば、自発管の方を交えて面談室等で雑談会を行いたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18			4	・迅速に丁寧に対応されています。	今後も丁寧に対応できるよう精進してまいります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	2		1	LINEを活用した連絡はとても便利。	今後もご利用者の負担にならないように工夫してまいります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	1	1	5	・LINEで連絡を取れて便利だが、活動の様子がわからないので、もっと知る方法が欲しい。	定期的に様子の動画などを送っていきたいと思います。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19	2	0	1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	19	2	0	1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	0	1	1		
満	22	子どもは通所を楽しみにしているか	20	2	0	0	先生やお友達との関わりを、とても楽しみにしている。	今後とも楽しいと思ってもらえるように精進していきます。

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI さいたま新都心教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

足 度	23	事業所の支援に満足しているか	20	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の活動と他の子どもとの活動のバランスを増やしてほしい。 ・教室内での様子があまりわからないので、もう少し映像などで様子を伺えると嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ運動を行うにしても、どこを目標にするのかを1人1人明確に伝えて行きます。 ・定期的に運動の様子を送ります。
--------	----	----------------	----	---	---	---	--	---

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 さいたま新都心教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令を順守したスペースは勿論のこと、運動のできるスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	法令で定められている配置数に加え、保育士、児童指導員等、その他指導員のいずれかを1名から2名以上を配置する体制をとっており、しっかりサポートできる配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	エレベーターがある。 介助等必要なお子さまがいれば工夫していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	モニタリング以外にも、毎回の申し送りでも振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向けアンケートを実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を図っていく。また、顧客満足度調査を実施し、業務改善に繋げていきたいと考えている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	運動や知識など様々な研修がある。定期的に外部研修、内部研修を行っている。各職員の知識・技能向上に努めている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	面談時にニーズや課題を抽出し、支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	フェイスシートを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	ミーティングにて意見を出し合う時間を設けている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	行事やイベント、学校体育集中クラスなどプログラムが固定化されないよう工夫している。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 さいたま新都心教室

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	課題ではないが、長期休暇にイベントごとを企画し実践している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・状況や子供に応じて個別で取り組むもの、集団でしか行えないものを取り入れている。 ・小集団クラスを設けており、個別活動、集団活動を行っている。契約時に適性を見極めクラス設定を行っている。子どもの成長に応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を聞きながら行っている。 ・年度替わりのクラス編成時にも、クラスの見極めを行い、保護者への説明も行なっている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	ファシリテーター、クラスを主になり行うリード担当、フィードバック対応の役割を確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	今日の様子、良い点、改善点を話し合い記録し、次回の活動に活かしている。支援終了後に必ず打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	一言情報にまとめて、いつでも見返せるようにしている。サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録にも記入し、検証している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的（6ヶ月ごと）に保護者の方と面談を行っている。それに合わせ、児発管、指導員でミーティングを行い計画の見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	総則の基本活動の内、主に「自立支援と日常生活の充実のための活動」及び「余暇の提供」を組み合わせ提供している。
関係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	現在は相談支援事業所と電話でのやり取りを行っている。サービス担当者会議は行っていないため参加はしていないが、担当者から徴収があれば児発管が参加する予定。将来的には指導員の参加も検討していきたい。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携を取り、トラブルが起きないようにしている ・送迎がないため、保護者と毎回送迎時に情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在は、医療的ケアが必要なお子様をお預かりしていないが、今後お預かりする際には行っていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	希望があった場合行っていく。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 さいたま新都心教室

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	希望があった場合行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	区市町村が運営する公開研修・療育セミナーに各自参加し、その中で積極的に情報収集を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	希望があった場合行っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	現在は行っていない。今後必要に応じて検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	面談時、フィードバック時に伝えあっているが、物足りなく感じている保護者の方もいる。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	希望があった場合行っていきたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	事業所内相談支援にて対応、支援している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母会は行っていないが、必要に応じて希望者には個別で情報交換などの連携を案内する対応を検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	速やかに職員全体に周知し、共有するようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	インスタグラムの更新が止まっている。動画配信、LINEで行事の発信を行う。
35	個人情報に十分注意しているか	気を付けてはいるがロビーでのフィードバックを気にされている方もいる。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 さいたま新都心教室

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	口頭指示より視覚優位なお子さまに対しては、動作化を行い、目で見てわかるような伝え方をしている。今後も必要に応じ検討していく予定。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在は行っていない。今後必要に応じ検討していく予定。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	保護者に周知はしていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的に災害時の訓練（火災・地震・不審者対応）を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	定期的に虐待防止委員会による研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング時に確認し、活動中に見られた場合事後ミーティングで共有し適切だったか、他の対応がとれなかったか話し合いをするようにしている。 ・組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。当事業所において拘束等は行われていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	教室内は水分補給以外の食事を禁止している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ささいなことでもヒヤリハットを作成し、共有している。終礼時のミーティングで話し合い、その都度記録している。毎日の振り返りで共有し、対策を打っている。

保護者からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI さいたま新都心教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	0	0	2		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2	0	1		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	2	0	1		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	18	0	0	1		
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	19	0	0	0	先生方で試しながらメニューを組んでくださっている。	今後も工夫を凝らしたメニューを取り入れてまいります。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	3	2	3		
保護者	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	0	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1	1	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	9	6		

保護者からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI さいたま新都心教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

目 へ の 説 明 等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	0	5		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	0	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	4	1	3	以前よりもレッスンの雰囲気が見えづらい。	LINEなどを活用して、定期的に動画などで当日の様子を送れるように努めています。
	14	個人情報に十分注意しているか	17	1	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	1	1	1		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	0	0	1		
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	19	0	0	0	とても楽しいと毎回笑顔で返ってきます。	今後ご満足いただけるよう支援してまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	18	1	0	0	よく話を聞いて頂いているが、時々レッスンの雰囲気が見えづらい。	ご要望に応じて事業所内相談支援を用いて、ご見学を受けつけております。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。